

## 焼津市自治基本条例制定・キックオフイベント「大ワールドカフェ」

～各班の成果：模造紙記録と発表概要

平成23年11月13日（日）実施

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため（テーマ1とテーマ2は原則違う人）

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

### 【1班】

#### ●テーマ1：焼津市がずっと住みたいと思えるまちであるために大切にしたいこと」

- ①海を美しく、市民とのつながりを作れる港へ
- ①ごみゼロのまち
- ②隣近所が仲良く住める街
- ③自然環境
- ③市民同士のつながり
- ④安心感と利便性のバランス
- ⑤地域住民との絆（ふれあい、思いやり）
- ⑤いつも笑顔で楽しいまち

《模造紙に記入》

◎住民同士

◎市民のつながりがいつまでも続くように

#### ●テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」

- ①現在、ふじえだ市民活動支援センターを運営しているが、焼津市でも同様な組織を作る様な時は、少しお手伝いしたい。
- ②勉強中です。
- ②イベントへの参加等 NPO
- ③市民の意見を市に提言している。（議員として）
- ④住民の意見を聞いて
- ④市へなるべく進言してゆいる
- ⑤実際に、焼津に人を連れてくる。（友人など）
- ⑤それを通して、焼津の良さ・魅力を沢山の人の人に知ってもらおう。
- ⑤焼津のモノを購入する（地産地消）。

#### 〈発表概要〉

- ・最初から4人がほとんど同じ意見だった。
- ・住民同士のつながりを、いつまでも大事にしていけるまち。そんなまちにしたい。
- ・自然環境を活かしたい。

【2班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●**テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと**

①焼津市には人が訪れる魅力の文化があるか。なければ又小さければこれから作ればよい。釜石市の災害教育8年間の成果が死亡児童は5~6名(3000人)という様に学校教育を活用し市民を育てる文化作りを市民一人ひとりが役割を持って参加するというひとつの文化として作りたい。

②地場産業(働く場所)                      ②子供が育つ教育環境                      ②医療を含め、安心なまち

③人情豊か。暮らしやすさ                      ③食(海・山・里)の豊かさと重複するが自然の豊かさ

③四季を通しての花の見所の多さ                      ③まちのハード面よりもソフト面の充実を

④互いに情報交換をしやすい人の関わり                      ④外部から来た人を受け入れる開かれたまち作り

④外出しやすい交通機関があるまち

⑤世代を越えた人と人とのつながり

→子どもから大人まで誰もが楽しめるような季節ごとのイベント (例)小学生だけで販売しているお店を出す

⑤子どもを育てやすいまち                      ⑤“あいさつ”が溢れるまち→知らない人にもあいさつをする

⑥人を大切にするまち      子供、働く人、中高年、老人、各々の立場で生きている人を尊重し、支え合えるまち

⑥東海道本線を境に市が二分化されているように感じるので、公共施設を平準化させて、効率よく施設を配置する

●**テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」**

①あいさつをする                      ①焼津でとれたものを食べる

①ボランティアなどに参加して地域の交流を深める

②1人でも多くの人と仲良くすること(親切に)                      ②出合いを大切にする

②町を知る為(まちの案内人の会で勉強しています)

③地域でミニデイサービスを13年前から子育てサロンを今年の9月から月1回ずつ開いています。(高齢者や小さい子どもと顔見知りになって声を掛け合える関係をきずく)

④人口を増やす                      ④歩きたくなるようなまちにする →きれいなまち 人情にあついまち

⑤ごみ問題へのとり組み                      ⑤地元での交流・サポート                      ⑤地産地消の努力

⑥職業や年齢関係なく町中で会ったら「こんにちは」や「お~い」など気楽に話せるような町にする →アットホームな関係づくり

**〈発表概要〉**

- ・「人が集まるまち」とはどんなまちなんだろうということを話し合った。「歩きたくなるまち・焼津」というキーワードが出た。
- ・美しいまちをつくっていきたい。そういうまちならば、歩きたくなるし、イベントもやりたくなる。駅、港、すばらしい文化もたくさんある。
- ・学生でも、ここに住み続けたいと焼津で就職する人も実際にいる。うれしいと思う。

### 【3班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため（テーマ1とテーマ2は原則違う人）

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

#### ●テーマ1：焼津市がずっと住みたいと思えるまちであるために大切にしたいこと」

①地域の人とのつながり

①安心、安全の具体化

②適正(切)な自然保護

②子ども(次世代)を大切に

②市民の意見を積極的に聴こうとする

③誰もが必要とされる居場所

③ゆるやかな関係

③相互交流

④焼津市の中にも、たくさんの町・地域があると思います。その地域で、それぞれ祭りなど、行事を行って、他のところからもきてもらい、小さいところからつながっていったらいいと思います。

⑤権利と義務の精神を全員が持つこと

⑥地域コミュニティの強化

⑥相互交流

#### ●テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」

①（していること）なるべく市内で買物をする（市内で経済を回す）

①（できること）問題提起を周囲に行うこと

②NPOで子供へのネット安全の啓発活動に参加（保護者）

②まちづくり勉強中、PTA、ボランティア

②商店街利用してます！

③お祭りやイベントに積極的に参加し、人との交流をしている（もっとしたい）

④焼津市の良さを知り、もっと好きになる事

⑤旧き物を活用し、新しい息吹を入れる 知り合う

⑤商店街の活性化

⑤焼津神社 de マルシェ

⑤「自存・自立」

⑥まちゼミ参加 ～ 商店街の活性化

⑥地域イベント参加

⑥焼津のPR（個人的ですが）

#### 〈発表概要〉

・行政も市民も、ともに焼津市を運営していく主体である。例えば、救急車を大したことはないのに呼んだり、自分たちの権利を享受するだけでなく、まずは自分たち市民も、市を活性化する存在であることを考えたい。

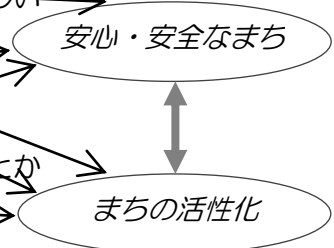
・昔からある伝統的なものを活かしていこう。しかし、伝統ある昔のものがそのまま良いということではない。伝統的なものを現代のニーズに合わせた形で発信していく。

【4班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)  
 ※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線  
 ※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

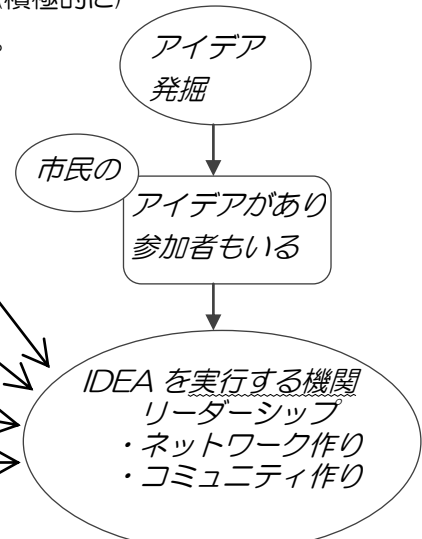
●テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと

- ① <子供から老人まで楽しく快適に生活できること>
- ①生産人口には安心できる職=収入源があり、幼児にはより良い(少人数の)保育の環境が、こどもには水準の高い教育が(2番では×)、老人には家族により近い生活が、そして十分な医療が保障されること
- ① <このまち、くに、ほしはこどもたちのものだという視点>
- ②子育てにやさしい町(焼津市独自の条例)
- ②安全(防災に強い町づくり)な町      ②歴史、伝説を大切にす町
- ③私がずっと住み続けたいまち  
 「近所に子どもたちの遊ぶ笑い声が聞こえる環境がある」  
 →経済的に発展しているまちは住みやすいかもしれないが、条件によって移りたくなると思う結果としてつきつめると・・・  
 子どもたちが遊べる環境(治安の良さ)が必要!!  
 ☆住民同士の交流・つながりを大切にすべき
- ④焼津まつりや花火大会等、昔からあるイベントを大切にしていってほしい
- ④防災対策(津波対策)
- ⑤安心、安全なまち→防災、高齢者
- ⑤人とのつながり→助け合い      市民⇄行政      市民⇄市民
- ⑥祭り      ⑥安心できる      ⑥自由と責任      ⑥知り合いが多いとか
- ⑥ご近所付き合い      ⑥当事者気分



●テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」

- ①焼津市自治基本…に応募した(w)。
- ①地域のこどもの育成のために、学校と連携をとって活動すること(積極的に)
- ①幼児の保護環境向上のために活動する      少人数保育の実現など。
- ②高齢者の生きがいの見付け方。地域によって方法はいろいろ
- ②安心安全の具体的なものを1つずつ改善
- ②人と人(若い人、高齢者)何かを通してのつながり
- ③仲間づくり
- ④専門職による地域を支えるネットワーク作り
- ⑤地域の行事には積極的に参加する、参加させる
- ⑤参加には、自分自身で義務と権利を意識して行動する
- ⑤男女協働の仲間づくりをする
- ⑥まずはまちのことをよく知る →情報を受け取る
- ⑥何かのコミュニティに参加する(町内会など…)



＜発表概要＞

- ・まず、安心安全が大事。安心安全の確保のためには、近所づきあいのネットワークが大事。そのためにも、イベントやお祭りを実施し、参加すること。
- ・市民にはアイデアがいっぱいあるが、実行するための機会がない。また、リーダーシップも必要。市民同士のコミュニケーション、ネットワークづくり。お互いに話し合い、お互いの理想を実現したい。

## 【5班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

### ●テーマ1：焼津市がずっと住みたいと思えるまちであるために大切にしたいこと

- ① “風通しの良い町”
- ①話し、聞く「仕組みを持つ事」
- ①議会、行政、事業家・市民（活動団体）
- ①お互いに信頼できる関係を作りたい
- ②地域コミュニティ→しくみ作り
- ②津波対策
- ③人のつながり
- ④「生まれた場所」、「育った場所」であること
- ④他の市町村に頼るのではなく、焼津市にしかない信頼・信用出来る病院や学校などを造る
- ④人と人との距離が近い
- ⑤お互いがお互いに思いあえる町

### ●テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」

- ①(1)第15自治会山の手区にて、山の手未来の会で、河津系さくら保在、のろし揚げ、ふるさと保在に活動
- ①(2)第15自治会山の手区方ノ上でエンマ堂保在会にて活動
- ②ネット上で、ツイッターやチャット等のツールを利用した、焼津市の人達が自由に語り合えるようなイベントを開催してみる。
- ③様々なイベントに参加し、思ったことはしっかりと伝える
- ④衣食住が楽しくなればいい。
- ④野菜ソムリエの資格をいかして、食の面からも豊かになれる手伝いを！！
- ⑤あいさつ…近所の人などなど・・・となりの人がわからないことも
- ⑤地域の活動に参加する（講座、まつり、レクリエーション…）
- ⑤地域を知る…おべんきょう
- ⑥焼津祭→つながりの1つ
- ⑥海岸清掃
- ⑥スポーツクラブチームへの参加

#### 《模造紙に記入》

- ◎子どもをまきこむ
- ◎自転車のレンタル
- ◎上の世代から伝えてもらう

#### 〈発表概要〉

- ・あいさつのできるまちになること。隣の人の顔も分からないではなく、地域で会った人にあいさつできるまちづくり。
- ・たくさんの人が集まれる、お祭りのようなイベント。地域の人が積極的に関わる。
- ・上の世代から子ども達に色んなことを伝えていくことが大事。大人から積極的に。

## 【6班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●**テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと**

- ① 震災に強い防災の仕組みづくり(津波) →自分の家の耐震も…
- ① となり近所つきあい、地域のつながり                      ①子育て環境
- ② 地域のつながり                      ②向こう三軒両隣                      ②地域を支えるネットワーク
- ③ 人と人とのつながり
- ④ 世代によって出かける場所がある
- ④ 町の良い所を小さい事でも知っている
- ⑤ 災害に強い                      ⑤福祉の充実
- ⑥ (1) 外に出掛けたくなる町づくり(活気・産業など)
- ⑥ (2) 焼津市として特化した産業・自然等の推進、振興への理解・支援
- ⑥ (3) 少子高齢化の加速化に伴う特に次代を担う若者の育成(人材が国家のみならず自治体においても最重要資源)
- ⑥ (4) 東日本大震災を契機とした天災、加えて人災も想定(浜岡)されている不断の啓蒙活動の強化(天災の被害を大きくするのは人災)
- ⑥ (5) 市民協議を柱に、行政に対するスタンスとして従来の「陳情型」から「問題提起」へと発想転換
- ⑥ (6) 存在感・活躍性の発揮
- ⑥ (7) 活性化に向けての各種組織「集める会」が「集まる会」へ

●**テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」**

- ① 人のつながり
- ② ゴミの減量化(ゴミの分別の徹底) →ゴミのポイ捨て、路上喫煙の禁止  
レジ袋の有料化(エコバッグの浸透)
- ② 声かけ運動(地域の声かけを青少年、高齢者含めて)
- ② あいさつはいい気持ち、地域の輪、すがすがしい、孤独死対策(黄色い旗やリボン)
- ③ ゴミの減量化、出来れば東京都のようにがれき処理受ける
- ④ 明るいまちにするために、あいさつをする(コミュニケーションの密接さ、近隣のつきあい、災害の減災へ)
- ④ ごみの減量は実施中、生ごみの資源化へ取り組み中
- ⑤ 市のことを知ろうとする(名産、名所、町のイベントなど参加をする)→人にPRできるようになど
- ⑤ 市に愛着を持つ。自分の町という意識をもって暮らす
- ⑤ お互い人に環境などに優しい気持ちで接する
- ⑥ 地元の物を買う、利用する
- ⑥ 行事に参加する
- ⑥ サークルなどで繋がりを広める

〈発表概要〉

- ・ 人と人のつながりを大切にする。
- ・ 焼津に行きたくくなるような、まちづくりに参加する。
- ・ 地震、津波などの災害に強いまちづくりに協力しよう。

【7班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

u003Cp>※*斜体文字*は、班で話し合い、記入した事項

●**テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと**

- ①愛着            ①方言            ①安らぎ
- ②自分たちの住むまちを好きになること！！
- ②地域コミュニティ、機会と場
- ②地域文化
- ③子どもたちが遊べる場がたくさんあるといいと思う。→子どもたちが焼津市を好きになる！！
- ③お年寄りの方が生きがいを見出せるような制度
- ③定年後も自分の得意なことを活かして働ける
- ③若い人との交流をもつなど…
- ④商店街 →会話しながら買い物ができる
- ④店側と消費者がコミュニケーションを取ることによって、人と人との輪を作っていく
- ⑤交通ルール(子どももそうだが、大人・高齢の方に対しても)
- ⑤行事参加(お祭りやボランティア)
- ⑤町の清掃(道路・海など)
- ⑤地域福祉(助け合いなど)
- ⑥向こう三軒両隣精神で思いやりを持って住みたい
- ⑥押し付けでない地域交流のある場所

《模造紙に記入》

◎*信頼関係*

◎*コミュニケーション*

●**テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」**

- ①知り合いづくり
- ②地域のイベントに参加する
- ③(1)まちづくり塾(商工会議所)として、中心市街地をメインとした取り組みをしている
- ③(2)トロボックスとして、世代を越えた横横のつながりを作ろうとしている
- ③(3)各イベント等に顔を出して、更にすばらしいモノとできるようにリサーチしている
- ③(4)焼津神社 de マルシェというイベントの開催メンバーとして成功させた
- ③(5)「よいまち」とする為に、「子供にツケをまわさない」というキャッチフレーズをうたえている(市議選に出たので)
- ④事件や犯罪が少ない町は良いと思います
- ④母などPTAの人が買い物に行くときは「防犯パトロール」の腕章をつけている
- ⑤職場や集合住宅であいさつを心がけている
- ⑤焼津の歴史的背景を含めて、焼津のまちを知りたいと思っている
- ⑥勤務外にも自主的に勉強

〈**発表概要**〉

- ・「人とのつながり」が大きなキーワード。
- ・信頼関係、コミュニケーション。向こう三軒両隣の付き合いが減ってきたことを問題視。
- ・まちづくり活動に、まず参加しよう。
- ・「情報」もキーワード。やっていることも知らないでは問題。情報共有をコーディネートする人がいれば、みんな参加するようになるのでは？

【8班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●**テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと**

- ①(1)地場産業の活性化(水産業、農業)                      ①(2)観光施設の充実拡充
- ①(3)商工業の発展                                                      ①(4)福祉関係施設の充実
- ②新鮮な魚                                                              ②富士山に見える風景(自然)
- ②地域の絆                                                              ②子どもたちの笑顔
- ③人と人との関わりが強い町だといひと思ひます
- ③買い物とかに行きやすいと離れたくないかも!!
- ④子供が安心して暮らせる
- ④きちんと機能する自治会
- ⑤職業関係なく、町中で会ったら「こんにちは」や「お〜い」などと気楽にあいさつができるアットホームのような雰囲気が欲しい!
- ⑥市民同士のコミュニケーションをとれる場をもつこと  
→ハード面でもソフト面でも  
☆みんなが気軽にたちよれる場所があるといひな  
→災害時の安否確認にもつながる  
→情報交換

●**テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」**

- ①(1)高齢者がネットワークをつくり、お互いの見守りなど危機管理のできる生活を望む
- ①(2)さわやかクラブ全員加入に努めている
- ②出会った人に笑顔であたたかくことばかけをする
- ②朝おきて海がきれいだと感じること(海の町に生まれてよかったと思ふこと)
- ②冬にゆりかもめが飛ぶ演歌の町
- ③(1)笑顔であいさつをする                                      ③(2)家のまわりの清掃
- ③(3)焼津市の広報をよく読む                                      ③(4)納税の義務をしっかりと果たす
- ③(5)健康管理をする
- ④上の世代からひきついだものを下の世代につなげていくこと
- ⑤今ある環境を残す(温かい人々、おいしい名産品など)
- ⑤回覧板などで終わらず、若い世代の人々へのPRとして、インターネットを活用する(HPやブログなど、手軽に見られるもの)
- ⑥近所の人とのつながりをつくる
- ⑥ごみの減量化など環境を守ること

〈発表概要〉

- ・キーワード「一人ひとりができることを、まずやろう。」
- ・例えば、あいさつ、笑顔を振りまく。それが近所の人との交流につながったり、よその人を受け入れる優しい環境づくりにつながる。
- ・お金をかけることも大事だが、一人ひとりが気をつけることが大事。
- ・焼津は富士山がきれいに見えるので、色んなところから撮った写真に一言つけるだけでもPRになり、より良いまちづくりにつながるのでは。



【9班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

u003cbr>

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●**テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと**

- ①まちを好きであること
- ①他人のことを思いやること
- ②「走る」のが好きなので「走りやすい環境」
  - 車が通らない道、自然の中(河川敷とか)、狭くない、明るい
  - ↓
  - ・走るだけで終わらず大会や集まりがあるといい(つながり、他の領域と)
- ③安全で安心して暮らせる(犯罪が少ない、自然災害への対策、公害)
- ③人との繋がりがある
- ③便利だけど穏やかなまち
- ④安心、親しみ、愛着                      ④人とつながる(仲間)
- ④子育てを共に                              ④お年寄りが一人でも暮らせる
- ⑤さいごまで自分らしく生きることができる
- ⑤自分の困ったことややりたいことを声に出して言える
- ⑥こどもを産み育て、若い父母たちが働きつづけられやすい街
- ⑥こども、お年寄りに優しい

●**テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」**

- ①つながり
- ①別の世代と交流→ボランティア(小学生・おじいちゃん・おばあちゃん)
- ②子どもたちが安全で安心して暮らせる街にしたい
- ②思春期の性のピアカウンセラー養成                      ②チャイルドライン子ども専用電話
- ②ひきこもり者へのサポート→フリースペース
  - ボランティア→就労支援
- ③人的な支援
- ③余暇を利用した自分の得意分野を活かしたボランティア
- ④〈していること〉お祭り、イベントのボランティアへ参加しています。トロ箱ナビ発信しています。
- ④〈できること〉焼津に興味をもつ、知る、伝える
- ⑤安心、安全の食料生産
- ⑤焼津の歴史に伝統文化の伝承
- ⑤焼津高校の非常勤講師 10年。植物の育て方
- ⑤農業と水産業のコラボ、他産業とのコラボ運動
- ⑤異世代交流の推進、体験交流事業
- ⑤街と村の交流推進
- ⑥皆がいろいろな情報を持っている
- ⑥新聞折り込みで情報を知ってもらうことができれば、各々が自分の判断をすることができる。
  - その場作りが必要。

**〈発表概要〉**

- ・キーワードは「一つの世界ではなく、広がり」。
- ・ボランティアを通じた交流や世代間交流。引きこもりから、広がりのある世界へ。

【10班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

u>

※*斜体文字*は、班で話し合い、記入した事項

●**テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと**

- ①◎安心して暮らせるまち
- ①老人問題←バス等公共交通(商店)
- ①介護問題←介護予防の為に筋トレ脳トレ コミュニケーション=人のつながり
- ①防災←事が起こった時の為に公園地内にマンホール型のトイレ設置
- ②(1)若者が魅力を感じるまち(働き場所、遊び場所、動きやすさなど)
- ②(2)美しいまち(緑が多く、環境等にもやさしい)
- ②(3)安心して住める町(安全性が高い) 地震、津波、交通、防犯、医療施設
- ②(4)あいさつが皆とできる子供達を育てるまち
- ②(5)衛生的なまち(きれいな感じがでている)
- ③伝統あるお祭りが、ずっと続いてほしい(イベントも含む)
- ③田んぼが減らないでいてほしい→遊ぶ場所なし
- ③焼津のまちなみ(昔ながらの店等)
- ④アジアのリバプールをめざす
- ④世界一の水産業の歴史伝統を活かす
- ④誇り高き志を持った人材を育てるべき、育ててほしい
- ④志太を生かす
- ⑤市のことをよく知ること、関わろうとすること(名所や名産、ウリなど(祭りとか?))
- ⑤愛着を持つこと、好きになること
- ⑤お互いに優しく気持ちのよい接し方をすること
- ⑥美しい景観
- ⑥移動しやすい
- ⑥住民同士助け合える、自律自立

●**テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」**

- ①きれいなまちづくりのため、クリーン作戦等に積極的に参加する
- ①市民の「こうしたらどうか」という意見を聞き、行政活動に反映できるようにする(条例や要綱の企画等)
- ②ゴミの量を減らす ②なるべく移動は徒歩又は自転車を使う ②献血
- ③地域の行事に積極的に参加をする
- ③焼津市民が焼津市のことについてよく知る
- ④子育てお母さんが集まる場所などコミュニケーション、隣近所の人を大切に、あいさつ
- ④捨てられるゴミ(使えるゴミを再利用) ぜひ考えて、カサの布や器など・・・
- ④駅前から魚市場に通じる道路の活性化
- ④ひとつずつから魅力ある店作り、今はシャッター通りです
- ⑤土日の休みには駅前で小さい祭りをやる
- ⑤朝、昼、晩は人と会ったりすれ違ったりするときは必ずあいさつをする あいさつプラス一言

〈発表概要〉

- ・きれいなまちづくりのクリーン作戦。海岸などのゴミをなくし、きれいなまちにする。
- ・地域の行事に積極的に参加することも大切。地域の活性化。
- ・人と人とのコミュニケーションが大切。あいさつからのコミュニケーション。

【11班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと」

- ①定期的に行っている地域ごとの清掃                      ①フレンドリーな人柄
- ①駅前通りをもう少し発展させたい                      ①駅を含め、もう少しバリアフリーを広める
- ②お年寄りがゆっくりできる場所 (お茶なんか飲める、話をしたい人が集まる場所)があるとい  
いなと思います。ひとりでテレビ観ているのも寂しいなあ・・・
- ③親密な近所付き合い  
ご近所同士で団結力があると、何かあった時に協力し合うことができるので安心だし、住みや  
すい環境になるから
- ④(1)歴史的財産の掘り起し                      ④(2)焼津市の資源の活用
- ⑤歴史、伝統があること、ふれあえること                      ⑤安全であること
- ⑤人と人とのつながりがあること
- ⑥(1)夢をかなえられる仕組みやサポートや絆                      ⑥(2)心を支える故郷の景観

●テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」

- ①緑豊かにするために、ブロック壁にしない(植木)、気温・地震対策
- ①交通安全に配慮                      ①近所づきあいを良好にする(人の和)
- ①安全な町にする為に自分から津波水門を必要とする
- ②若い世代が集まる“元気なまち焼津”実現のため
- ②自然災害に強い街(市民の命を守る)                      ②自然と共生する街(海、山、川)
- ②日本一健康な街(食(魚)を活かした健康づくり)
- ③市民活動の応援
- ④仕事の中で焼津のまちをPRする                      ④節電、ゴミを出さない(分別)
- ④子供と楽しむ!!(虫探し、外で遊ぶこと)
- ⑤<していること> 環境指導教育(globalな観点から科学者として科学のための科学から社会の  
ための科学への傾斜(市民の目線に立って)
- ⑤<していること> 地域の活性化の一助として公民館活用(中国語)
- ⑤<していること> 地域の活性化(山の手未来を考える会)
- ⑤<できること> 市民協働の推進への参画・支援
- ⑤<できること> “天災の被害は人災(文明災)を大きくする”    啓蒙・普及・支援
- ⑥地元の物を買う(特産品など、その土地にしかないもの)



経済が回る(地元の人も、外から入ってきた人も満足する)  
人の交流ができる  
特産品のアピールにつながる(内にも、外にも)

〈発表概要〉

- ・地域の絆が大事。特に若い人にとって。
- ・若い世代にとってのまちの魅力、年配の方にとってのまちの魅力、それぞれどう思うか?  
～お互いに理解し、一緒になって、歩み寄り。
- ・災害に強いまち、日本一健康なまちであるように。
- ・地元のものを買おう。経済も活性化するし、交流もできる。
- ・年配者と若い人の間に高い垣根があるようにも思ったが、共通の思いがあると感じた。

【12班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●**テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと**

①焼津の誇り＝焼津 Love

②若い世代が集い、子育てが安心して出来る環境づくり

③まちを良くしようとする人の想いや行動を大切にする

④地域住民相互の信頼感

||

⑤近所の人や地域の色んな人と仲良く(交流できる)

⑤福祉が充実している

⑤安心できる(犯罪がないなど・・・)

⑥夜道を安心して歩ける街。例えば子育てをしたりだとか、心配せず暮らすことのできる街。自然豊かで、人々が温かいことが大切。街にゆとりがあり、きれいであれば、住みたいと感じる。

⑦地震津波に強い町

⑦市役所を安全な場所に

⑦県道市道では6m以下の道路を無くす様にする

⑦市で出来る失業者対策を行う 例：生活保護受給者に環境保全を行ってもらう

●**テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」**

①できるかぎり地域の行事には参加している

①近所の人とコミュニケーションを取る

②NPO法人生きる生きる設立

→「疲れている人に元気を」をモットーに親子コンサート、あそびの広場の提供などしています…

②フットサル、障がい児音楽療法、俳句とか。

③楽しい事がある

③まちなか案内人→ウォーキングをしながら名所を説明する人？

↑

焼津をよく調べて外部から人が来てくれるように。

「いいところさがし」

④職としての役をはなれた時、地域住民として地域の事に参加すること

④市民として語れる力を持つよう学ぶこと

⑤職場、家の前道路の掃き掃除

⑥魚がしシャツや魚がしグッズ等、デザインもかわいいものも多く、若い人からご年配の方まで、楽しめるものがいっぱいあることを何かの折にいろいろな人達に話す

《模造紙に記入》

☆まずは地域での自分(基礎)

〈発表概要〉

・「焼津 Love」という気持ちで盛り上がった。

・話題2で、基盤として地域のコミュニティを築くことが大事ではないかという話が出た。その上で、色々な活動や、これからやりたいことをしていく。

・みんなで考えて出してくれたことが正解だと思う。

【13班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：焼津市がずっと住みたいと思えるまちであるために大切にしたいこと

- ①地区単位の防災意識
- ①漁港関連は元より、他方面の文化等
- ②とりにいる人同士に気さくに助け合える町にしたい
- ②よそ者を仲間にできる町
- ②弱者(子供、高齢者にやさしい環境)
- ③みなさんのいろいろなアイデア等を、真剣に議論して多くの為になる、そんな場所が常にある
- ③地域コミュニティがしっかりした…災害に強い地域づくり、安心につながる
- ③子育てしやすいまち
- ③地域のイベントを地域の人が(小さい地域で必要)
- ③今あるものを有名にする活動
- ④小さな子どもが安心して遊べるような場所であり、かつ、お年寄りも暮らしやすいバリアフリー化のある優しいまちづくり
- ⑤みんなが「つながる」町    みんなで「決める」町    自然と共生できる町

●テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」

- ①市内の組織をつなぐこと、関係作り
- ①主体的に動ける場を作る事
- ②“公共の利益”という意識をもつ
- ②会社の経営をがんばる
- ③あいさつ
- ③人と関わる
- ④行政と市民等の対話集会有れば、可能であれば出席する事
- ④〈まちづくりでしていること〉
  - ・自治会の町内会組長を受け持っている
  - ・町内会の旧家名の由来を調べるために町内の文化財等を有志で調べている
- ⑤地域のミニデイサービス
- ⑤オータムフェスト in 焼津
- ⑤障害者とのかわり
- ⑤文化の伝承(焼津まつり等)
- ⑥あいさつ、近所のつながり
- ⑥顔の見える行政、情報の発信、行政つながり、市民の顔

面白い  
 条例で決めたらどうか?  
 前文に入れてはどうか?  
 下町や昭和は条例なくてもあいさつある  
 きっかけ作りとして良いかも  
 形としてできるまで、必要  
 強制的でも、あった方がよい

頑張って!  
 話し合いサロンができればよい

〈発表概要〉

- ・主に「人と人とのつながり」について話した。
- ・まちなかを歩いていて、あいさつができるような環境。条文に入れるのは大変かもしれないので、前文などに精神論として書いてはどうか。あるいは、あいさつ運動や月間などをつくったり。商店街にもそういう機能を持ってもらいたい。
- ・行政の顔が見えるという話もあった。今日のような場ではなく、駅などの人が集まる場所に、普段から雑談のようにお茶のみ話ができるサロンのような場があると良い。

【14班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと

①地域交流が盛んに行われる事

②住んでいるところのまわりの人に無関心でない (人が多い)

||

③安全、安心 (防災、将来的な安心)

④自分が誰にでも親切である?

④生きものにも愛情をかける事ができるか

⑤歴史や文化の伝統を尊重し、市民文化が創造されるまち



⑥都会すぎず、田舎すぎないまち

- ・挨拶
- ・歴史を伝えていく  
(地域住民が中心)
- ・人を大切にする

- ・コンビニの便利さ
- ・照明の明るさ
- ・田舎道の暗さは危ない
- ・人とのふれあいが田舎らしい
- ・都会の便利さ (交通、買い物)

●テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」

①「よい」は人によってそれぞれ。何が「よい」のか  
みんなで考え、話し合い、出来ることをやる

より多くの人と共有し合いながら、  
対話の場が必要  
高齢者に対する生涯学習の充実

②高齢者や障害者が暮らしやすいまち

③焼津についての情報発信

③イベントの企画、実行

④夜勤中に声かけ

④ご近所付き合い

⑤今後、地域コミュニティに参加

⑤子育て支援

⑥地域発のイベントの開催

- ・発表などのオープンに
- ・子供に対する発表の場を設ける (地域のよいところ)

〈発表概要〉

- ・地域発の地域で考えたイベント。近所づきあいを強化してイベントに活かしたい。
- ・子供たちにまちの良いところ探してもらい、発表会をしよう。良いまちは住みやすく、観光客も来る。
- ・あいさつ、近所の子どもへの声かけ。顔が分かるようになると、子ども達も保護者も安心につながる。声かけ、地域づきあいを大事にしたい。

【15班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●**テーマ1：焼津市がずっと住み続けたいと思えるまちであるために大切にしたいこと**

- ①焼津神社大祭 自分も友人も祭りのために一年がんばっています。
- ①いつでもスポーツができる町                      ①魚の町のイメージ
- ②高齢者にやさしいまち                                  ②ゴミの落ちていないきれいなまち
- ②駅を中心とした経済的に活気のあるまち
- ③(1)豊かな税収確保の為に、産業(観光等)の育成
- ③(2)若い世代が住みたいと思えるような施策の推進
- ③(3)市民が意見を表明しやすい環境                  ③(4)市民が政治や行政に責任をもって意見を言う
- ③(5)以上から、「市民が大人」であるまちを大切にしたい
- ④安全、安心に暮らせる人にやさしい町              ④魚の町(清水に負けそう)の回復へ
- ④一時駐車場の問題解決!!
- ⑤良い学校(大学、専門学校)をつくる
- ⑤道路の整備などをして、子育てをしやすく、高齢者も住みやすい環境を整える
- ⑤お祭などをたくさん開催し、地域のひととひとのつながりを深める
- ⑥地域内のつながり、コミュニティ                  ⑥商店に入ったときなど、会話が弾む、会話を交わす

●**テーマ2：「焼津市をよりよいまちにするために、私達ができること・していること」**

- ①地場製品のPR
- ①地域のまちづくり委員会に発足当時から参加、コミュニティづくり、災害に強いまちづくりに役立っている
- ①地域の人が話し合い、合意形成が得られる。組織をしっかりと税金(自分のお金だから)の使い方を皆が真剣に考える場所(自由な発想から)
- ②自分の住んでいる近所の方々と少しでも顔見知りになり、そこから小さくても輪を広げていく
- ②他の地域の祭りや行事にも参加して、知っていくこと  
これを全員で出来れば人間関係の輪が広がっていくと思います。
- ②ネット上などで、自分の地域のいいところをアピールする
- ③大井川児童センターで催し物がある時に、ボランティア(楽器の演奏)で参加している。  
これからも地域での、または共通する仲間どうしのつながりが深められるよう一助となればよいと思う。
- ④地域のつながりがあって、こどもたちにとって皆声をかけあえる大人であったら信頼できる、安心できる街に。
- ⑤親密な近所付き合い                                      ⑤シンポジウムに積極的に参加し、周りに呼びかける
- ⑥一人暮らしの老人に月に一度、食事を作らせて頂いている。老人が明るく元気になっている。
- ⑥30年古紙の回収をしている

《模造紙に記入》

- ◎人にやさしく声を掛けること
- ◎コミュニティの深まり
- ◎災害時などいざという時に役立つ

〈発表概要〉

- ・「人に優しく、声をかけること」が一番。これが私達のテーマ。
- ・近所の人亡くなくても気づかないようなまちは優しくない。
- ・コミュニティをつくれれば、災害時など、いざという時も役立つ。